

# I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

## 第1回「かわしんビジネスフェア」の開催

(金融機関名) 川崎信用金庫

1. 動機(経緯)	地域金融機関の果たすべき役割は金融サービスの提供だけでなく、地域経済との連携を深め、創業支援、異業種交流、販路拡大など産業振興支援策への対応が求められていること。
2. 概要	<p>〈開催概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主催 川崎信用金庫</li><li>・後援 川崎市・川崎商工会議所・(財)川崎市産業振興財団・(株)ケイエスピー</li><li>・開催日 平成19年2月21・22日(平日2日間)</li><li>・会場 川崎市とどろきアリーナ(川崎市中原区)</li><li>・出展企業 110社</li><li>・来場者 5,000名</li></ul> <p>～特色～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・出展企業を中小企業に限定したこと(初めてビジネスフェアに出展した企業が約7割)。</li><li>・川崎市では初の中小企業総合展であったこと。</li><li>・当金庫の単独主催としたこと。</li><li>・イベント会社に委託せずに企画から運営まで当金庫が独自に行ったこと。</li><li>・都心部の著名なコンベンション施設と異なり、会場が東急東横線・JR南武線武蔵小杉駅からバス便であることから、PR活動に重点をおいたこと。→新聞広告・電車内広告・DM9,000通など。ただし最も効果的だったのは渉外担当のハンドメール。</li><li>・武蔵小杉駅から会場間の無料シャトルバス運行。</li></ul>
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"><li>・神奈川県知事や川崎市長が視察されたほか、予想を大幅に超える来場者があった。</li><li>・終了直後の出展企業アンケートでは、マッチング機会が合計500件近くあった。</li><li>・出展企業の8割強が次回の出展を希望している。</li><li>・出展企業間の交流が活発に行われた。</li><li>・地元中小企業の優れた最終製品を一堂に見られ、当金庫職員についても地域経済への理解が非常に深まった。</li></ul>
4. 今後の予定 (課題)	平成20年秋に次回開催を予定している。

# ～第1回 かわしんビジネスフェアの開催

## 『川崎発 → とどろき・ゆめ空間』

経済のグローバル化が進行し、産業構造の変化も一段と進む中、地域金融機関の果たすべき役割は、単に金融サービスの提供だけではなく、今まで以上に地域経済との連携を深め、創業支援や産業振興支援策への対応が求められています。かかる観点に立ち、地元企業を対象とする、販路拡大・受注確保を目的として開催したものの。



主催：川崎信用金庫

後援：川崎市・川崎商工会議所・(財)川崎市産業振興財団・(株)ケイエスピー

出店企業：110社、来場者：5000名

### 【特色】

- ・ 出展企業を中小企業に限定  
(初めてビジネスフェアに出展した企業が約7割)
- ・ 川崎市では初の中小企業総合展
- ・ 当金庫の単独開催
- ・ イベント会社に委託せず企画から運営まで当金庫が独自に行った など

### (参加企業の声の例)

- ・ 2月21・22日に『第1回 かわしんビジネスフェア』～川崎発→とどろき・ゆめ空間～に出展いたしました。初めての出展ということでなかなか、ブース作りに手こずりましたが、なんとかスタート。2日間で5000人を超える来場者で大賑わいでした。会場には、製造業・福祉環境・飲食関係など100社を超える企業が出展しておりました。私も、色々営業がてら他ブースを周ったのですが、感動の連続でした。知らない商品やサービス「あんな物からこんな物」まで、たくさん勉強になりました。
- ・ 「第1回かわしんビジネスフェア」にて新川崎タウンキャンパスのプロジェクト及び、大学発ベンチャー企業を紹介しました。開催期間中は、多くの方々がブースに足をお運び頂きました。ありがとうございました。
- ・ 「かわしんビジネスフェア」はやや大盛況で無事終了しました。多くの方と交流できて、ためになるお話を伺ったり、質問に答えたりして楽しいイベントでした。